はしがき

同學百三十今や校を去らむとす。焉ぞ雄心動かざらむや。さあれ一片俯仰の思に堪へざるを奈何。

春風秋雨絃に四星霜、師恩の高き、友情の深き、何を以て之を記念せむ。耶山の冬、茅海の夏、何に仍て之を偲ばむ。今東西に袂を別たむとするに當り絃に此帖を頒ちて回顧四年の栞とすと云爾。

明治四十五年三月十八日

神戸高等商業學校

第六回卒業生

庭　　校

校長　水島鐵也

校長　室